

「マイコプラズマ肺炎」が増加中!!

令和6年9月(第34~35週)にてお伝えした、**マイコプラズマ肺炎**ですが、その後も**全国および県内で増加中**です。症状や感染経路についてお伝えします。

マイコプラズマ肺炎

症状



- ・ 発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、せきなどの症状がみられます。
- ・ せきは熱が下がった後も長期にわたって(3~4週間)続くのが特徴です。
- ・ マイコプラズマ肺炎に感染した人の多くは気管支炎ですみ、軽い症状が続きますが、一部の人は肺炎となったり、重症化したりすることもあります。
- ・ また、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を併発する症例も報告されています。

マイコプラズマ肺炎

感染経路 治療

- ・ 感染しているヒトから飛沫感染や接触感染により感染します。
 - ・ 感染してから症状が出るまでの潜伏期間が長いです(2~3週間)。
 - ・ 保育施設、学校などの閉鎖施設内や、家庭などで感染が広がることが多いです。
 - ・ マイコプラズマ肺炎は抗菌薬で治療ができます(※)。
- ※ 処方については医師の判断によります

感染対策や
その他詳しい情
報はこちら

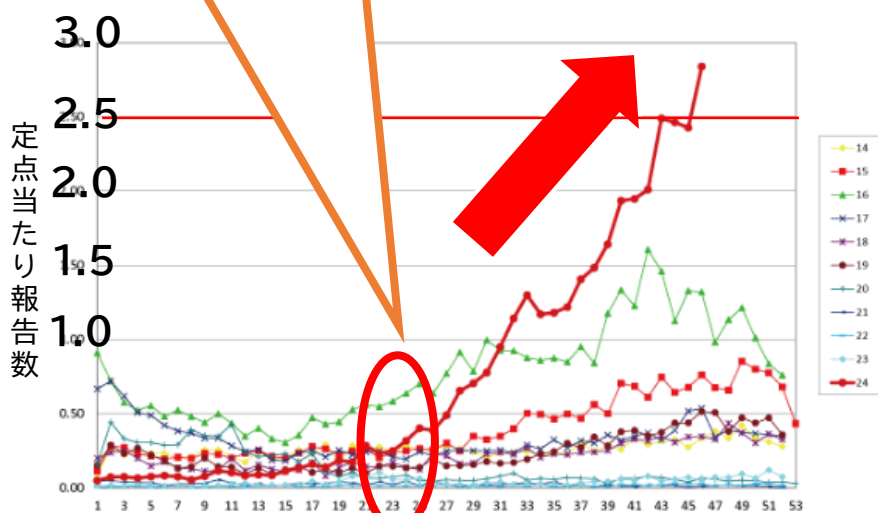


マイコプラズマ肺炎
(厚生労働省HP)

マイコプラズマ肺炎の定点当たりの患者報告数

全国 (46週)

赤い線が2024年のデータ
第23週(6月上旬)から急増

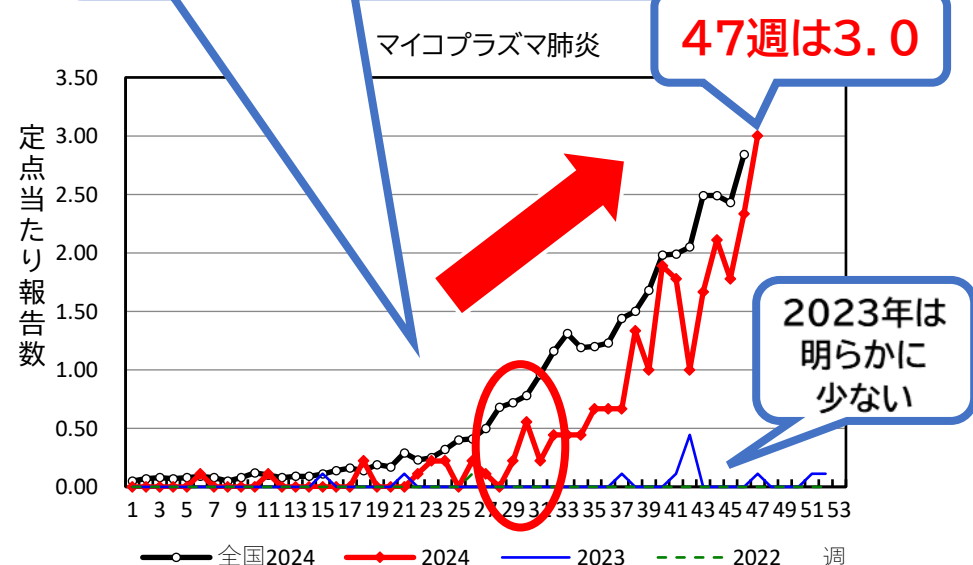


(出典：国立感染症研究所. 感染症発生動向調査週報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/10/2096-weeklygraph/1659-18myco.html>)

群馬県 (47週)

赤い線が2024年のデータ
第28週(7月中旬)頃から増加



★その他の感染症の情報は群馬県ホームページで公開しています★

「群馬県感染症情報」で検索するか、以下URLもしくはQRコードからご確認ください。

<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>

